

### 0歳児の予防接種スケジュール

NPO法人「VPDを知って、子どもを守ろうの会」推奨。2012年5月現在

ワクチン名	誕生	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	1歳
不 B型肝炎 任		①-②			③								
生 ロタウイルス(2回接種) 任		①-②											
不 ヒブ 任		①-②-③											④
不 小児用肺炎球菌 任		①-②-③											④
不 三種混合*(DPT) 定		①-②-③											④
不 ポリオ* 定		2012年9月から不活化ポリオワクチンを導入予定											
生 BCG 定		①											

※12年11月以降、不活化ポリオワクチンを含む四種混合ワクチンに切り替え予定

不 不活化ワクチン 任 任意接種 任意接種のできる年齢 <○> おすすめの接種時期(数字は接種回数)  
 生 生ワクチン 定 定期接種 定期接種の対象年齢

## ヒブや肺炎球菌…無料へ 増える乳幼児ワクチン 同時接種で効率的に

乳幼児が接種すべき新たなワクチンがここ数年で次々と増え、厚生労働省はインフルエンザb型(ヒブ)、小児用肺炎球菌、子宮頸がんのワクチンを2013年度から新たに定期接種とする方針を固めた。特に生後6カ月までの接種スケジュールは従来と大幅に変わり、日程管理は親にとつて頭の痛い問題に。専門家は「計画表を活用し、同時接種で効率よく進めて」と助言している。

厚生労働省は07年以降、ヒブ、小児用肺炎球菌、ロタウイルス、ポリオの不活化ワクチンと、0歳から接種できる4種類のワクチンを相次いで承認した。

### 「どれも重要」

予防接種には、法律で接種が定められた「定期接種」と、保護者の希望で行う「任意接種」がある。定期接種はほとんどが保護者の負担なしで受けられるようになっており、

厚労省は07年以降、ヒブ、小児用肺炎球菌、ロタウイルス、ポリオの不活化ワクチンと、0歳から接種できる4種類のワクチンを相次いで承認した。

「どれも重要」  
 ロタウイルスは任意接種で、一部地域を除き自己負担だ。ほかにも水ぼうそうやおたふくかぜなども任意で接種する。日赤医療センター小児科顧問の蘭部友良医師は「日本の任意接種は、国連が定期接種に推奨しているものばかり。どれも重要

## 一度に5種の医院も

原因であることはあまり知られていない。

生後2カ月から

蘭部医師は「正しい情報が周知されていないが、日本は今でもワクチンで防げる病気が多い。生後2カ月を『ワクチンデビュー』と考え、かかりつけ医とよく相談して接種スケジュールを立ててほしい」と呼び掛ける。

効率よく接種を進めるために欠かせなくなったのが、2種類以上のワクチンを一度に接種する「同時接種」だ。

横浜市港南区の「竹田



ヒブワクチンの接種を受ける赤ちゃん(横浜市港南区の竹田こどもクリニック)

こどもクリニック)では、保護者の希望に沿って一度に5種類までのワクチンを組み合わせる「オーダーメイド」でスケジュールを作成する。

「健康状態がよければ同時接種で副作用の危険が高まることはない。最初は1種類ずつにして、様子を見ながら徐々に増やしていくこともできます」と、竹田弘院長。体調が悪くて受けられない場合も、次に1種類増やせばスケジュールが狂わずに済むことが多い。

便利なツールも登場。NPO法人「VPDを知って、子どもを守ろうの会」は、スマートフォン(多機能携帯電話)用の「予防接種スケジュールアプリ」(無料)を開発した。推奨ワクチンの表示や接種予定の通知などの機能があり、任意接種の定期接種化など、新たな動きがあるたびにアップデートされる。詳細は「VPDの会」ホームページ(<http://www.know-vpd.jp/>)。